



羽田、ホテル3棟

沖合展開跡地 五輪前に開業

住友不動産

国土交通省は30日、羽田空港の沖合展開で生じた跡地を開発する住友不動産グループの計画を公表した。高級からビジネスまで3タイプのホテルや、訪日客らに24時間対応する「おもてなしセンター」、飲食・物販店など3タイプのホテル（左側の建物）を建設する「イメージ

計画では4・3畧の敷地に12階建てのホテル3棟（計1700室）を建てる。ホテル子会社の住友不動産ウィラフォンテースが運営するが、高級ホテルは外資系ブランド

にする予定。おもてなしセンターは宿泊先や観光ツアーの予約と情報提供、手荷物預かりなどに4カ国語で応じる。ホテルなどの施設は国際線旅客ターミナルと通路で直結。通路には電子看板を設置し、訪日客らに日本の歴史や文化などの情報を発信する。ホテルと国際線、国内線の各ターミナルビルとを結ぶシャトルバスも運行する。

国際会議などに使える600人収容のバンケットルームや温浴施設、飲食・物販店なども設ける。施設の延べ床面積は計8万平方メートル。住友不動産のグループには

食・物販店なども設ける。施設の延べ床面積は計8万平方メートル。住友不動産のグループには

日建設計や西松建設、前田建設工業が参加。6月を借りてホテルなどの施設を整備・運営する。国に友不グループは貸付料の高さなどが評価された。